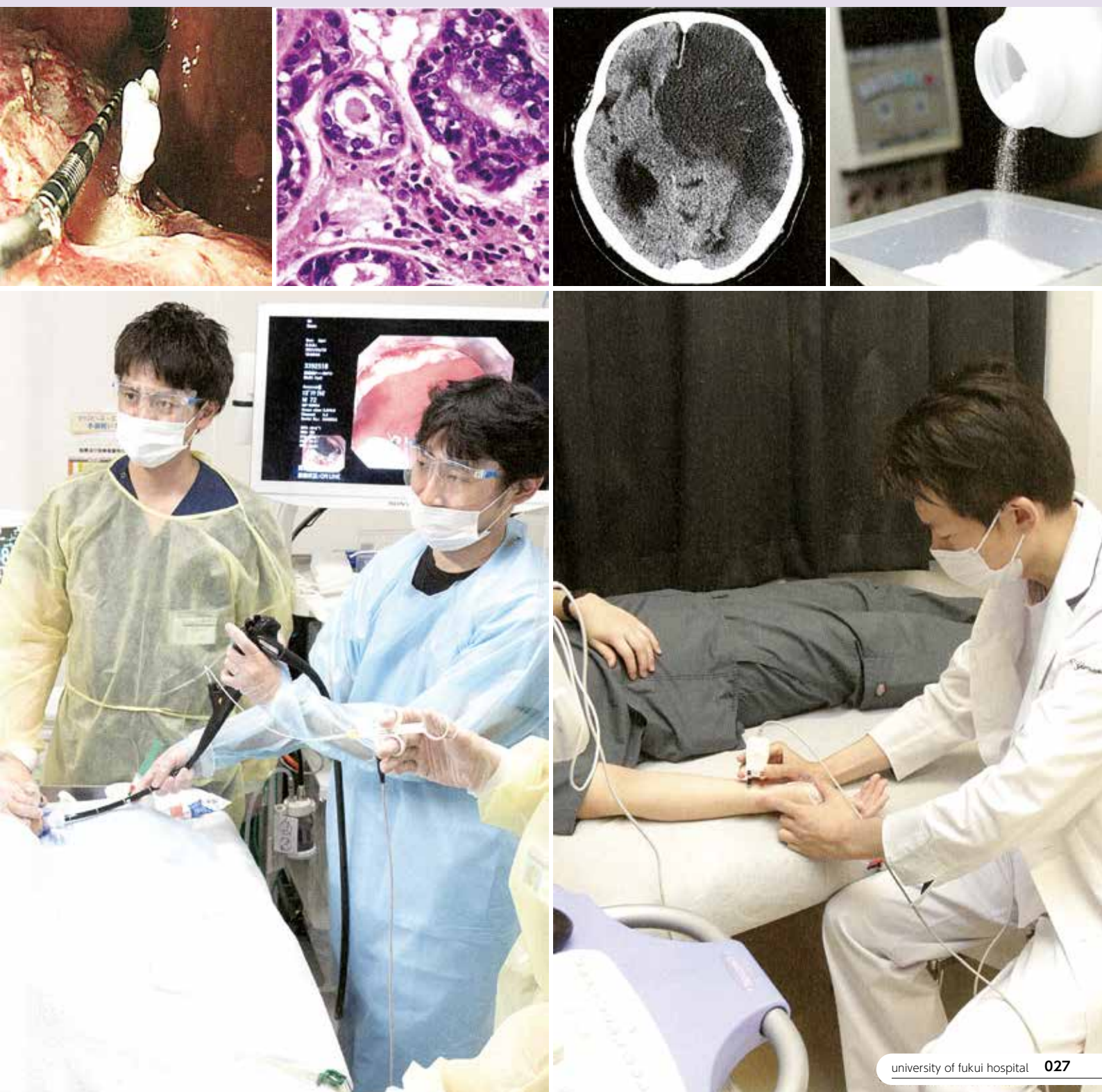


04・05

内科部門

消化器内科／脳神経内科





ALL FOR ONE!!

04 消化器内科

科 長 (研修統括者)

中本 安成
出身大学 金沢大学（平成元年卒）
専門分野 消化器病学、肝臓病学、消化器内視鏡学

消化器内科の 診療内容と 特色

モットー：消化器内科は病気のみを診るのではなく、病人を診て、専門的視野狭窄に陥ることなく、総合的に患者さんを診てゆくことを重視しています。良質な医療を提供する医師を目指すのであれば当科への入局を勧めます。

教室の特色：専門領域として消化器内科全般（消化管・肝臓・胆膵）を担当し、各専門医の育成と資格取得および各分野における最先端の研究を行っています。また、光学医療診療部とともに附属病院における消化器内視鏡診療を担当し、上部消化管、下部消化管、胆膵の全ての領域に精通した内視鏡専門医の育成を目標としています。当科では2年間の義務化研修と専門医制度に対応し、効率良く専門医（消化器病学会、肝臓学会、消化器内視鏡学会等）を取得できるための学内研修および関連病院（学会指定の専門医教育病院・教育関連病院）研修を行っています。

[消化管・胆膵疾患]

- 消化管および胆膵疾患に対する検査と治療（内視鏡を中心とする）全般。消化器内視鏡（上・下部消化管内視鏡、胆膵内視鏡、超音波内視鏡等）を用いた診断・治療手技を積極的に施行し、各種消化器疾患に対し診断・治療を行っている。主な診療項目として、1)食道癌、胃癌、大腸癌、大腸腺腫に対する内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）、2)消化管、胆膵疾患に対する超音波内視鏡下穿刺吸引術（EUS-FNA）を用いた診断・治療、3)進行胆道癌や膵癌に対する内視鏡的減黄治療、4)Helicobacter pylori(H.pylori)感染症の診断・治療、5)小腸疾患に対するカプセル内視鏡検査、バルーン内視鏡検査などを行っている。平成16年10月からは胃癌に対するオーダーメイド医療の一環として、専門外来としての「ピロリ外来」を開設し、最近では三次除菌治療も積極的に行っている。

[肝疾患]

- 肝臓領域の疾患全般を扱う。肝・胆道系悪性腫瘍、ウイルス性肝疾患（慢性肝炎・肝硬変）、アルコール性肝障害、脂肪肝、NASH、自己免疫性肝炎、薬物性肝障害等を扱っています。C型肝炎に対するIFN療法やB型肝炎に対する抗ウイルス療法を積極的に行っています。肝・胆道系悪性腫瘍に対してはTAEやRFA・PEITだけでなく、5-FU動注／IFNなどを積極的に取り入れ、良好な成績を得ています。更に、平成26年より手術不能肝細胞癌に対するTAEと樹状細胞免疫治療の先進医療を目指した臨床試験を開始し、肝癌を含む消化器癌に対する新たな治療法の開発に挑戦しています。また、毎週放射線科との画像カンファレンスも行っており、個々の診断能力の向上に努めています。

教室員数：

● ● ● ● ●

福井大学／22名

金沢大学／3名

三重大学 / 1 名

岩手医科大学／1名

藤田保健衛生大学／1名

030 university of fukui hospital

海外留学先

MIT（米国）、ワシントン大学（米国）

国内留学先

金沢大学がん進展制御研究所、
国立がん研究センター東病院

関連病院・大学

＊は学会指定専門医教育指定病院・教育関連病院

◆は当科派遣医師の専門医取得数

[関連病院]

関連病院	派遣医師数	専門医取得数
福井勝山総合病院 ＊	5 名	◆消化器病学会専門医 2 名、指導医 2 名 肝臓専門医 2 名、指導医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 2 名、指導医 2 名
福井県済生会病院	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名、指導医 1 名 肝臓専門医 1 名、指導医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名、指導医 1 名
福井県立病院 ＊	1 名	
公立丹南病院 ＊	2 名	◆消化器病学会専門医 2 名、指導医 1 名 肝臓専門医 2 名 消化器内視鏡学会専門医 2 名、指導医 2 名
公立小浜病院 ＊	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名
織田病院	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名、指導医 1 名 肝臓専門医 1 名、指導医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名
福井総合病院	2 名	◆消化器病学会専門医 2 名 肝臓専門医 2 名 消化器内視鏡学会専門医 2 名
福井厚生病院 ＊	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名
大滝病院 ＊	2 名	◆消化器病学会専門医 2 名 肝臓専門医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 2 名
広瀬病院	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名 肝臓学会専門医 1 名
明石医療センター ＊	1 名	◆消化器病学会専門医 1 名 肝臓専門医 1 名 消化器内視鏡学会専門医 1 名

関連大学

金沢大学消化器内科

専門医研修プログラム

専門医研修 1 年経過後、内科認定医を取得するとともに、大学および関連病院（専門医教育指定病院・教育関連病院）での専門研修を 2～4 年行います。専門医を取得後は、より実践的関連病院や大学で専門医師として活躍します。研究を行う場合は、専門研修と並行あるいは終了後に大学院に入学し学位を取得します。

患者・疾患ごとの診療グループ（指導医・主治医・研修医・[学生]）単位で診療・教育にあたります。午前 8 時より週 4 回毎朝、入退院カンファレンスを行い、前日入院患者・前日退院患者について報告と検討を行うとともに、週 1 回の消化器カンファレンスで診断・治療方針を最終決定します。更に内視鏡画像カンファレンス（病院病理部合同）、放射線画像カンファレンス（放射線科合同）を毎週行い、医局全体（第 2 内科：消化器内科および神経内科）でのカンファレンスも毎週行います。この他に、最新の医学知識の習得の為に、毎週 1 回モーニング

カンファレンスを定期的に行っています。また、各種の技術習得（消化器内視鏡検査、消化管造影検査、腹部超音波検査等）を図っています。

専門医研修

卒後3年～6年

専門医研修プログラム開始。原則として関連学会入会。大学院入学可能。

専門研修としての専門知識と技術を取得。

大学附属病院では病棟医として主治医担当。

並行して、関連病院（専門医教育指定病院・教育関連病院）での約2年の専門研修。

大学でのプログラム

ケースカンファレンス ☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

モーニングカンファレンス ☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

学会活動 ☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

研究会活動 ☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

消化器画像研修 ☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

技術習得（各種消化器内視鏡検査・腹部超音波検査など）

☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5.

（1. 評価できない、2. 努力が必要、3. 評価できる、4. 優れている、5. 特に優れている）

- 卒後4年目から内科専門医取得可能。
- 卒後7年目から消化器病学会専門医受験可能（内科専門医取得が必須）、大学院卒業可能
- 卒後8年目から消化器内視鏡学会専門医試験受験可能（内科専門医取得が必須）、肝臓学会専門医試験受験可能（内科専門医取得が必須）
- 専門医を取得後より実践的関連病院や大学で専門医師として活躍。

現有構成員の 認定医・専門医 取得状況

日本内科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器病学会専門医・指導医

日本肝臓学会専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本消化管学会胃腸科専門医・指導医

日本カプセル内視鏡学会 指導医

主な 研究テーマ

- 末梢循環腫瘍細胞の検出とその解析
- 肝臓の転移メカニズムの解析
- B型肝炎ウイルス再活性化の病態解析
- B型肝炎ウイルスの増殖抑制因子の検索
- 自己免疫性肝炎に関与する転写調節因子の解析
- ラジオ波焼灼後アジュバンド投与による肝臓免疫補助療法に関する臨床研究
- 肝細胞癌に対する治療感受性因子の探索
- NASH/NAFLDの臨床病態解析
- *H.pylori* 感染における消化器疾患の臨床病態解析
- NSAIDs・抗血栓薬による消化管粘膜障害の病態解析
- 性ホルモンや食品因子による消化管の発癌抑制機構の解析
- 小腸カプセル内視鏡検査の臨床解析
- 放射線照射による消化管粘膜障害の病態解析
- EUS-FNAによる診断能の臨床解析

教員募集 について

定 員：特になし。出身大学は問いません。

申 込 締 切：病院の締め切りに準じますが、随時相談に乗ります。

選 考 方 法：履歴書、面接

連 絡 先：准教授 大谷 昌弘

電話：0776-61-8351、FAX：0776-61-8110

e-mail：mohtani@u-fukui.ac.jp

説明会の日時、場所、申し込み締め切り：希望者に適宜連絡します。

05 脳神経内科

科 長
(研修統括者)

濱野 忠則
出身大学 福井医科大学（平成2年卒）
専門分野 脳神経内科、認知症

脳神経内科の
診療内容と
特色

モットー：当科は脳神経内科を主としますが、病気のみを診るのではなく、病人を診て、専門的視野狭窄に陥ることなく、総合的に患者さんを診てゆくことを重視しています。良質な医療を提供する医師を目指すのであれば当科への入局を勧めます。

教室の特色：一般内科全般を診ることができる医師の育成を目標としています。専門的内科領域として脳神経内科全般、脳循環内科を担当し、各専門医の育成と資格取得および各分野における最先端の研究を行っています。専門医診療に対する保険優遇処置に対応するためにも、内科認定医および専門医の取得は今後必須となります。当科では、二年間の義務化研修と専門医制度に対応し、効率良く専門医（神経学会、脳卒中学会、内科学会、人類遺伝学会、認知症学会、頭痛学会、老年学会）を取得できるための学内研修および関連病院（学会指定の専門医教育病院・准教育病院）研修を行っています。

〔神経疾患全般〕

- パーキンソン病、変性疾患、代謝性疾患等、膠原病（皮膚筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー等）の県内外の多数の患者の外来および入院治療の実績を有し、神経難病の診療にも力を入れています。
神経免疫疾患に対する血液浄化療法も腎臓内科の協力のもと積極的に行っています。
頭痛学会専門医による慢性頭痛の診療にも力を入れています。

〔脳血管疾患〕

- 脳血管障害に関しては脳外科との協力のもと、発症4.5時間以内の症例に血栓溶解（rt-PA）療法を行っています。
地域連携を進め、急性期から慢性期までの連続的診療体制を確立しています。

〔認知症〕

- もの忘れ外来を毎週行い、鑑別診断、治療、家庭での介護、社会資源の活用についてのアドバイスを行っています。
若年性認知症患者さんの対応に力を入れています。

〔頭痛〕

- 頭痛外来を毎週行い、鑑別診断、治療薬、予防薬の投与、そして生活指導を行いQOL向上につとめます。

学内構成員
平成30年
6月現在

教室員数：

男性 16名 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
女性 8名 ● ● ● ● ● ● ● ●

卒業大学の内訳：

福井大学／20人 兵庫医科大学／2人 弘前大学／1人 金沢大学／1人
東京医大／1人

氏 名	職 名	専門分野	認定医・指導医等の名称
濱野 忠則	准教授	神経、 認知症	日本内科学会指導医 日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本神経学会指導医 日本神経学会専門医 日本老年医学会指導医 日本老年医学会老年病専門医 日本認知症学会指導医 日本認知症学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本脳卒中学会指導医 日本頭痛学会指導医 日本頭痛学会専門医 米国内科学会上級会員（FACP）
井川 正道	講 師	神経、 神経変性疾患、 遺伝病	日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本神経学会指導医 日本神経学会専門医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 日本人類遺伝学会臨床遺伝指導医 日本認知症学会専門医 日本認知症学会指導医
榎本 崇一	助 教	神経	日本内科学会総合内科専門医 日本神経学会専門医 日本神経学会指導医
遠藤 芳徳	助 教	神経	日本内科学会認定内科医 日本神経学会指導医

関連病院・大学

[関連病院]

(*学会指定専門医教育指定病院・准教育病院、◆専門医数)

関連病院	常勤派遣医師数	専門医取得数
福井総合病院*	4名	◆神経学会専門医5名
福井県済生会病院*	3名	◆神経学会専門医2名
公立丹南病院	1名	◆神経学会専門医1名
福井勝山総合病院	1名	◆神経学会専門医1名
福井県立病院	1名	◆神経学会専門医2名
中村病院	2名	◆神経学会専門医2名
杉田玄白記念公立小浜病院	1名	
聖隷浜松病院*	1名	◆神経学会専門医6名
国立精神・神経医療センター*	1名	◆神経学会専門医45名
藤田神経内科病院*	1名	◆神経学会専門医2名

関連大学

福井県立大学	国立循環器病研究センター
Mayo Clinic Jacksonville	藤田医科大学脳神経内科
	大田記念病院

専門医研修プログラム

二年間の義務化ローテート初期研修の後、脳神経内科の専門医研修プログラムに参加します。内科専門医を取得するとともに、並行して、大学および関連病院（専門医教育指定病院・准教育病院）での専門研修を3～5年行います。専門医を取得後は、より実践的関連病院や大学で専門医師として活躍します。研究を行う場合は、専門研修と並行あるいは終了後に大学院入学し学位を取得します。

患者・疾患ごとの診療グループ(指導医・主治医・研修医・[学生])単位で診療・教育にあたり、毎朝のカンファレンスおよび週1回の総廻診で診断・治療を最終決定します。各専門(神経)、画像およびリハビリカンファレンスを毎週、認知症カンファレンスを月1回で行い、医局全体でのカンファレンスも毎週行います。この他に、最新の医学知識の習得の為に、モーニングカンファレンスを毎週行っています。また、技術習得(筋電図・神経伝導検査、超音波検査[脳・下肢血管])を図っています。

プログラムのタイムスケジュール

年数	プログラム
0年	医学部卒業・医師国家試験合格・医師免許取得
1年	初期研修開始・義務化ローテート
2年	初期研修修了

専門医研修

3年～6年	専門医研修プログラム開始。原則として関連学会入会。大学院入学可能。専門研修としての専門知識と技術を取得。大学附属病院では病棟医として主治医担当。並行して、関連病院(専門医教育指定病院・教育関連病院)での約2年の専門研修。大学でのプログラムは、ケースカンファレンス、リハビリカンファレンス、モーニングカンファレンス、認知症カンファレンス、学会活動、研究会活動、神経画像研修、技術習得(筋電図・神経伝導検査、超音波検査など)4年目から内科専門医取得可能。
7年目から	神経内科専門医試験受験可能(ただし内科専門医取得が必須)、内科学会総合内科専門医受験可能、大学院卒業可能

専門医を取得後 より実践的関連病院や大学で専門医師として活躍。
また、神経内科専門医以外の関連の専門医(脳卒中専門医、認知症専門医、頭痛専門医、てんかん専門医、老年病専門医)などもあり、受験資格年限になり次第取得可能である。

専門医研修人員募集 定員は特に定めていない。毎年4月開始であるが、中途からの開始可能。
過去の研修人員：平成26年2名、平成28年1名、平成29年1名、平成30年1名、令和元年1名、令和3年1名、令和4年2名、令和5年1名。
選考方法：履歴書および面接。

現有構成員の 認定医・専門医 取得状況

日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医
日本神経学会専門医・指導医
日本老年医学会老年病専門医
日本認知症学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本頭痛学会専門医・指導医
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医・指導医
米国内科学会フェロー(FACP)

主な 研究テーマ

- 神経変性疾患・パーキンソン病のPETによる病態解析
- 神経免疫疾患における抗神経抗体のプロテオーム解析
- MRI ASL画像による神経変性疾患の病態解明
- アルツハイマー病発症におけるタウ蛋白リン酸化・重合機構の解明
- 脳血管障害の地域連携システム構築の研究
- Brainmachineinterface (BMI) の研究
- 認知症の臨床病態のデータベース研究
- パーキンソン病発症に関する α シヌクレインリン酸化機構の解明
- 慢性脳虚血がアルツハイマー病タウ蛋白重合に及ぼす影響の解明
- 神経筋疾患のMRIによる罹患筋の解析

教員募集 について

定 員：特になし。出身大学は問いません。

申 込 締 切：病院の締め切りに準じますが、随時相談に乘ります。

選 考 方 法：履歴書、面接

連 絡 先：脳神経内科科長 濱野 忠則
電話：0776-61-8351、FAX：0776-61-8110
e-mail：hamano@u-fukui.ac.jp

説明会の日時、場所、申し込み締め切り：希望者に適宜連絡します